

三重県立聾学校 キャリア教育マトリックス

領域	観点	高等部専攻科
	重点課題	社会の中で自らの進路を切り拓く力を身につける
「Ⅰ」 人間関係・社会形成能力	(他) 他者の個性を理解する力	□(1)他者の思いを受け止め、自分との相違点を調整して、理解し、コミュニケーションできる。
	(チ) チームワーク・リーダーシップ	□(1)就労体験などを通じて、様々な協働・協力場面を体験し、その意義を理解し、実践する姿勢を養う。
	(マ) 基本的なマナー	□(1)社会人としてのTPOに応じた言葉遣い、マナーについて知り、身につける。 □(2)初対面の人に対して、自分からきちんと挨拶や自己紹介ができる。
	(規) 規範意識	□(2) 成人として認められた権利と新たな義務や責任を理解する。
	(公) 公共心	□(1)「私」と「公」とを区別し、社会人としてのあるべき行動をとる。
	(常) 社会人としての常識	□(1)社会生活の中での自分の立場を認識し、社会人としての価値観を周囲と共有できる。 □(2)公の基準に合わせて判断することができる。
	(コ) コミュニケーションスキル ・日本語力	□(4)専門用語を含めた表現を理解し、発信する文章力・実践力を身につける。
「Ⅱ」 自己理解・自己管理能力	(責) 自己の役割の理解・責任感	□(3) 成人として社会で求められる役割を認識し、その責務を果たそうとする。 □(4)最上級生として、下級生の手本となる役割を認識し、相応の行動ができる。
	(前) 前向きに考える力	□(1)自己肯定感の下、自己実現に向けて諦めることなく取り組む。
	(学) 生涯学習力	□(3)社会生活に必要な専門的な知識・技能を身につけると共に、卒業後も自律して学習できる。
	(体) 体力・健康管理	□(1)体力の維持や健康管理に留意した生活ができる。
	(制) 自制心・ストレスマネジメント	□(1) 課題を克服するための手段や考え方を探り、自己の感情をコントロールする。
	(主) 主体的行動	□(1)自己を肯定的に捉え、将来に向けて主体的に行動する。 □(2) 自分がよりよく成長していくために、自分から工夫して取り組むことができる。
「Ⅲ」 課題対応能力	(情) 情報の理解・選択・処理	□(1) 様々な方法での情報収集と外部の知識も受け入れながら、創造的な解決を図る。 □(2) 他者の考え等を的確に理解できる。
	(課) 課題発見力	□(1)問題や課題を発見し、分析、整理できる。
	(案) 計画立案	□(1) PDCAサイクルを理解し、適切な計画を立案できる。
	(行) 実行力	□(1)諸活動に積極的に参画し、協働によって、課題を克服できる。
	(評) 評価・改善	□(1) 問題が起きた時、原因を調べ、課題を発見し、解決のための方策や適切な手段を選択する。 □(2) 自分に足りない力を理解し、補うために努力する。
「Ⅳ」 キャリア能力アップ ・ランニング	(役) 役割把握・認識能力	□(1)変化する世の中にも対応できる自分づくりを主体的に行う必要性を理解する。 □(2) 社会人として求められる役割を認識する。
	(計) 計画実行能力	□(1) 希望の進路を達成するための道筋をたて、それにしたがって実践する。
	(探) 情報収集・探求能力	□(1) 就労体験・職場見学・就職説明・オープンキャンパスなどにより情報収集し、活用する。 □(2) 障がいへの配慮に関して、使えるサービスを知っている。
	(職) 職業理解能力	□(1) 地域の経済や雇用の実状について知り、自らの能力・適性を踏まえて、職業について考える。
	(選) 選択能力	□(2)自らの専門性を活かすことのできる進路先について、その実現のための道筋を理解し、それに沿って選択・決定する。

○キャリア教育マトリックスは、それぞれの発達段階の中で身につけておきたい能力や態度について、基礎的・汎用的能力の4つの能力領域ごとに書き出したものです。
○赤字は、「キャリア発達意識調査」の結果、その発達段階の半数以上の幼児・児童・生徒にとって課題となっていると思われるものです。
○未到達の項目の中で、特に重点的に取り組むべき課題を設定し、日々の教育活動の中で(個別の指導計画に盛り込み)指導を計画的に進めていきます。